

「こうかん・くこう」だより kouzushima 神津島

発行:平成22年3月

神津島空港消防救難訓練を行いました。

平成21年12月18日(金)最終便出発後の神津島空港において、「平成21年度神津島空港消防救難総合訓練」を実施しました。これは、航空機事故に対し、関係機関相互の緊密な連携と協力により、人命救助及び救急医療活動が、迅速かつ適切に実施できるように習熟を図ることを目的としたものです。

訓練には、航空局東京フライトサービスセンター、新中央航空株式会社、新島警察署神津島南駐在所、神津島空港消防所や神津島村役場など8機関から18人、車両4台が参加しました。

- ① 航空機がエンジントラブルで胴体着陸、エンジンから出火し炎上した想定で緊急通報から消火、救出までの流れを確認しました。
- ② 空港巡回車両を炎上機に見立て、現地本部を設置、化学消防車から放水したり、泡消火剤を散布、消防所隊員が本番さながらの機敏な動きで負傷者を救出し、救急車で搬送しました。



炎上する機体



消火活動中



負傷者を救出して救急車で搬送



事故現場の検証



訓練終了後の講評

(講評の内容)

神津島空港では、年に一度行う唯一の訓練ですが、関係機関の日ごろの成果が現れていました。

航空機事故は1度起これば大惨事につながります。

今後も有事に備えた心構えと組織的訓練の積み重ねが重要であります。空港管理者として、事故が起きてはならないという決意で、皆様と連携し、安心して利用できる空港運営を行いたいと思います。

港の工事で活躍する船

神津島港と三浦漁港の工事では、様々な船が活躍しています。その中から代表的な船をご紹介します。

チャッパ船



起重機船の係留作業時、係船ロープの受け渡しに使用します。通常は、起重機船に積載しています。

潜士船

国際信号旗A旗：本船で潜水士が作業中。徐行して下さいという意味。



潜水作業に使用するコンプレッサなどの機器を載せ、潜水作業を行う作業船。潜水作業時には国際信号旗A旗を掲げます。

ガット船



砂、砂利や石などを運ぶ船です。資機材などを運ぶ貨物船やしゅんせつ船としても使われます。



積み・運ぶ

ブロックなどの資機材を積み込んで運びます。



ほめる

海中の土砂などを掘削します。



入れる

砕石などを投入します。

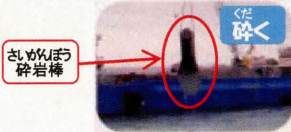
起重機船

起重機船は、様々な工事で使用されます。



吊る

ブロックを吊り上げ、据え付けます。



くだ

砕岩機



砕岩機を落とすことで岩盤を砕きます。

引船(曳船)

タグポートという呼び方もあります。工事では、東京港から神津島までケーソンを曳航してきたり、ケーソンの移動に使用されます。



スラストマーク：船を横方向に動かす装置があることを示します。装置のある位置の上に記載します。

×E



バルバスボウマーク：船首に船の揺抗を消すための球状船首があることを示します。

球状船首 (バルバスボウ)

港湾・空港へのご意見・ご要望、ご質問は下記まで

◆大島支庁神津島港湾空港管理事務所

電話：04992-8-1311 FAX：8-1313

◆大島支庁神津島出張所港湾空港工事担当

電話：04992-8-0311 FAX：8-0313